



樟葉南

発行 樟葉南コミュニティ協議会
 会長 井本 由之
 校区の現状
 世帯数 4,129世帯
 人口 8,803人
 (令和7年6月1日 現在)

いきいきファミリーフェスティバル2025 参加型のフェスティバルへ 一歩前進



昨年の「ファミリーコンサート」から今年は「ファミリーフェスティバル」へ。聴くコンサートから参加型のフェスティバルへ。6月22日、開催。

高齢者が中心ではなく、子どもも若者も参加するファミリーフェスティバル。歌がうまい下手にかかわらず参加できるフェスティバル。知っている曲は演奏に合わせて楽し

く歌ってよく、少しくらい調子が外れていても気にしない、舞台に合わせて鳴子を振れば心が弾む、元気なものは踊りの輪にはいることができ、元気な子どもなら勝手に踊るのもいい、そんな居場所を作ろうと今年は企画しました。

参加いただいた皆さん、ありがとうございました。今年の企画はいかがでしたか？ ぜひ皆さんのご意見をお寄せください。

福祉委員会では皆さんのご意見を参考にしながら、今後の企画・運営にいかしていきたいと考えています。モットーは「老若男女 みんなで ワイワイ ガヤガヤ 楽しい居場所」です。



変面ショー



よさこい踊り

15時からは図書室で「いきいき団らんCafé」

「カフェは、フェスティバルの余韻を親子、友人とじっくり楽しんで頂きながら、淹れたてのコーヒー等を提供する居場所の一つとして開催しました♪」(M)

楠葉西中学校

学校教育目標

変化する社会にたくましく生きる人を育てる
～感じる！ 考える！ 行動する！～

地域の中学校への理解を深めようと復刊第14号では楠葉西中学校を取り上げました。今回紹介できるのは同校の取り組みのごく一部です。今後の連携強化につながればと思います。

【楠葉西中学校の沿革】

○開校：1978年。楠葉中学校および第三中学校の校区の一部を再編。

○通学区域：樟葉西小学校、樟葉南小学校の通学区域の全域

※2014年度までは南小校区のうち、北船橋町、船橋本町1丁目、船橋本町2丁目のみが進学先として指定されていた。2015年度の進学者より南小区域全域に変更された。（経過措置あり）

【クラス数】

○1年3クラス、2年3クラス、3年4クラス
（生徒総数341人）

「令和7年度学校経営について」より

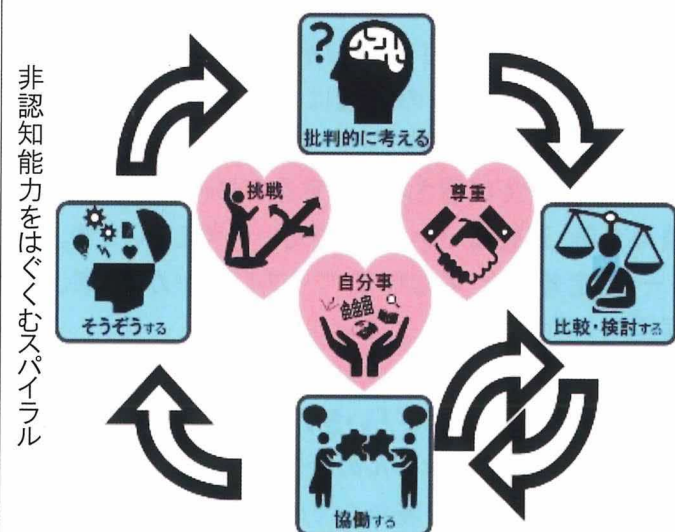
キーワードは二つ

非認知能力と PBL（課題解決型学習）

「従来通りの教育（認知能力）では、世の中に通用する人材を育てることはできません。今からの教育は、認知能力に加えて、非認知能力とPBL（Project（Problem）Based Learning 課題解決型学習）向上も不可欠です」

「非認知能力」とは？

一般に、「認知能力」とは計算力や語学力といった学力



内側の3つのピンクのハートマークで表現されているのは感性的な領域の能力

テストなどで測れる能力をさすのに対し、「非認知能力」はコミュニケーション力や意欲、忍耐力など、数値での測定が難しい能力のこと。

西中では、非認知能力を「挑戦、尊重、自分事、そうぞうする、批判的に考える、比較・検討する、協働する」の7つに分類、これを、授業のみならず、生徒会活動、修学旅行、体育祭・文化祭等、あらゆる教育活動に意識させるとしています。

「PBL（課題解決型学習）とは？」

文科省が推進しているアクティブラーニングの手法の一つで、生徒が自ら課題を見つけ、その解決に向けて調査や検証を行う学習スタイルのこと。

非認知能力とPBLは表裏一体の関係であり、切り離せない。「民間企業や自治体と連携した総合的な学習」「生徒主体のルールメイキング活動」等、実践の場を積極的に設けている。「学力（認知能力）と非認知能力及び課題解決型学習 PBL により、知・徳・体のバランスの取れた「生きる力」の育成に努めて参ります。」

【学習実践例】



福祉を探究する総合的な学習では、介護施設や保育園を訪問し、建物の工夫や職員の対応力を学びました。

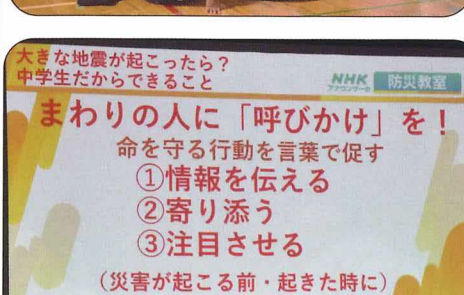
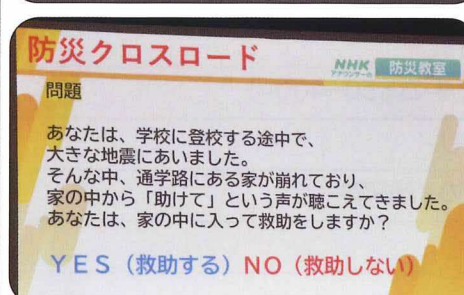
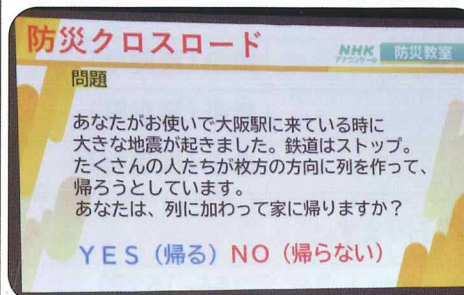
楠西コレクション
（制服お披露目会）



特集 楠葉西中学校

防災教室見学 1年総合学習（NHK出前授業）6月18日6限

「大きな地震が起こったら 中学生だからできること」



西中学校の防災学習を見学しました。NHKの出前授業に応募して実現したということで、講師はNHKの現役のアナウンサー（大山さん）。また、地域連携の一環として南小校区、西小校区から防災担当など4人が見学しました。

○まさに6月18日は7年前に大阪府北部地震があった日で、今の中学1年生は7年前は幼稚園・保育園の年長さん。「棚が倒れそうになった」など大半の生徒が覚えていて手をあげました。

○映像を使いながら震度6弱の地震の脅威を追体験。高槻市のブロック塀の倒壊現場や枚方市の銭湯の煙突が折れた映像など。

○棚などが倒れて散乱した室内の映像。大山さんは家具の固定をしていたため被害を出さずに済んだ体験。そこで、「あなたの部屋は安全ですか」の問いかけ。中学生としてまずできることは家具の固定など、自分の身の回りの安全確保。

○通学途中交通機関がマヒし、電車に閉じ込められた当時中学生だった人の経験談。そこではスマホの貸し借りや情報の共有など「助け合い」が生まれたこと。そして中学生も、より小さい子には助ける側になれること。

○水道が止まった時、高齢者など困っている人に給水車の水を届けるのはどうすればいいか？「こんなとき中学生がいれば助かる」という声を聞いたことがある。

○防災クロスロード1

「あなたがお使いで大阪駅にきている時に大きな地震が起きました。鉄道はストップ。たくさんの人たちが枚方方向に列を作って帰ろうとしています。あなたは列に加わって家に帰りますか？ YES NO」

大半の生徒が「無理に帰ろうとしない」と答えながら、一方で「ペットが心配になり、たぶん、帰ろうと思う」という本音の答えも。

○防災クロスロード2

「あなたは学校に登校する途中で大きな地震にあいました。そんな中、通学路にある家が崩れており、家の中から「助けて」という声が聞こえてきました。あなたは、家の中に入って救助しますか？ YES NO」

「自分では助けられないので、大人を呼びに行く」「一人でも助かってほしいので何とか助ける」などなど、さまざまな意見が出ました。災害時、自分の安全確保が第一、無理は禁物、でも助けを求める、救助に必要なものを運んでくるなど、中学生にできることはある。

○生徒のいろいろな意見を踏まえて、「災害が起きたとき、正解のない問題に直面」する、正解がない。でも中学生にも、中学生だからできることはたくさんある。それは何なんだろうと考えていってほしい。「正解」ではなく「成解」を。

●講演終了後には見学していた二つ校区の代表から、「避難所開設を考えたとき、皆さんには一緒に避難所を運営していこうの気持ちで来てほしい。皆さんの若い力を地域は必要としています」との呼びかけもありました。

以上が防災学習見学の報告です。

中学生は「大人が守る」対象ではなく、一緒に取り組むパートナーにもなりうるというのが一つの発見でした。この1年生の中には、南校区が実施している「防災キッズキャンプ」の経験者も何人かいます。彼らの成長にも期待したい。

福祉委員会 年間行事予定 (終了した行事も含みます)

行 事	日 時	場 所
子育てサロン	6/4(水), 7/5(土), 9/10(水), 10/29(水), 2/28(土)	あさみ集会所
グラウンドゴルフ(世代間交流)	4/12(土), 5/10(土), 6/14(土), 10/11(土) 11/8(土 年次大会), 3/14(土)	南小(運動場)
シングルクラブ(ひとり暮らし)	4/12(土), 6/14(土), 9/13(土), 12/13(土)	南小(図書館)
いきいきファミリーフェスティバル	6/22(日)	南小(体育館)
団らんカフェ	6/22(日)フェスティバル終了後	南小(図書館)
いきいきサロン(高齢者)	11月中旬~下旬を予定	あさみ集会所
高齢者招待	区民体育祭11/9(日), 餅つき大会12/7(日)	南小(運動場)
正月遊び・おかし遊び(世代間交流)	1/10(土)	南小(図書館)
ひとり暮らし高齢者新年会	1/17(土)	南小(図書館)

民生・児童委員(地域担当)の紹介 皆様の、行事へのご参加をお待ちしております。

【朝日住区】 1(大城賢吉 ☎865-3167) 2(浅野由香利 ☎856-1262) 3(村上典代 ☎866-1572)

【美咲地区】 1・2(藤井香里 ☎851-3675) 3(村上典代 ☎866-1572)

【面取地区】
 <面取町> 1(瀬座正夫 ☎850-7190) / 咲きが丘(前田敏洋 ☎850-4004)
 <面取町> 2 楠葉台、2000番地(坪倉祐美子 ☎850-2444)

【船橋地区】
 <船橋本町> 1(藤原妙子 ☎857-5006) 2(小高住子 ☎850-7697)
 <北船橋町> (田地 博 ☎090-4294-2394)

主任児童委員 (山中真琴 ☎090-5250-7920)

困りごと、ひとりで抱えていませんか? 民生・児童委員にご相談ください!

シングルクラブ 人形劇鑑賞6/14

梅雨に入ってあいにくの雨模様の天気でしたが、たくさんさんの参加がありました。



出し物は「人形げきだん もんぺざ」による「ブレーメンの音楽隊」。
 歌に合わせて体をほぐす体操のあと、「子どもいきいき広場」に来ていた小学生たちも参加。子どもたちは最前列に。

「ブレーメンの音楽隊」といえば、ロバの上に犬、猫、おんどりが乗り、一斉に声をだして泥棒を驚かす場面。おみごと。最後は人形にさわって、実際に動かしてみました。

「久しぶりの人形劇は新鮮で楽しかった。一緒に鑑賞した子どもたちの笑顔にも元気をもらいました」。

また、今回、はじめてシングルクラブに参加された方も何人かいらっしゃいました。

シングルクラブは今年度、あと2回開催予定です。

人形げきだん もんぺざ

